

【資料2】

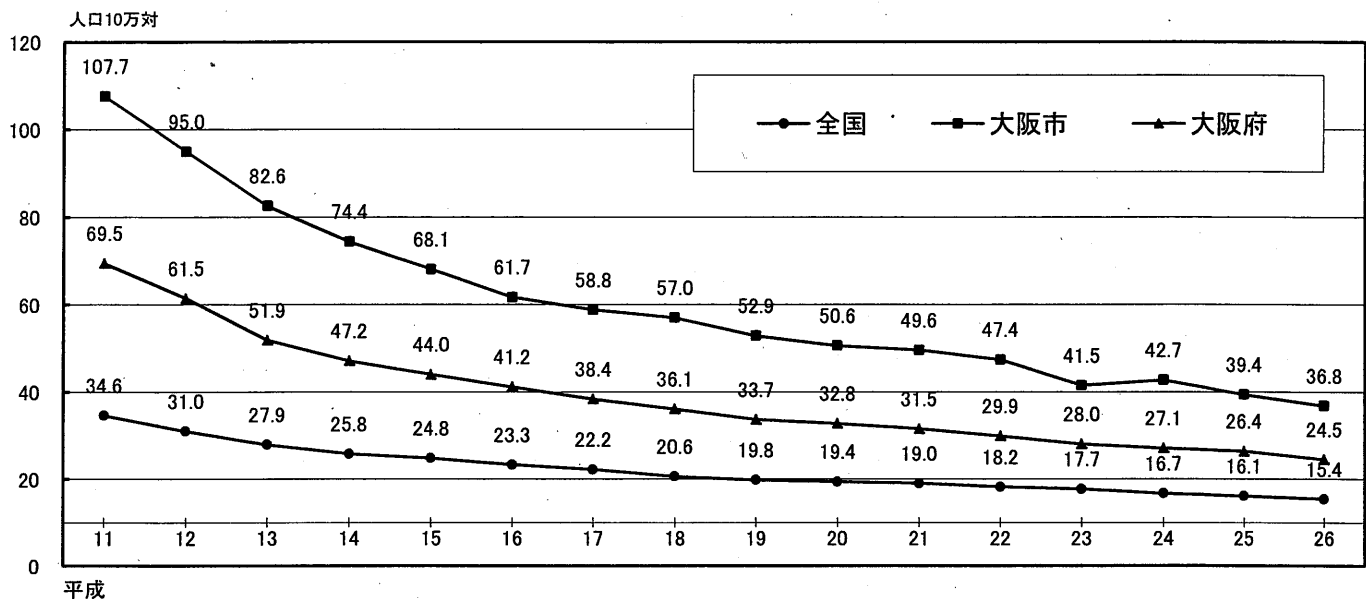
大阪市の結核2015（抜粋）

大阪市の結核 2 0 1 5

平成 2 6 年結核登録者情報調査年報集計結果速報（抜粋）

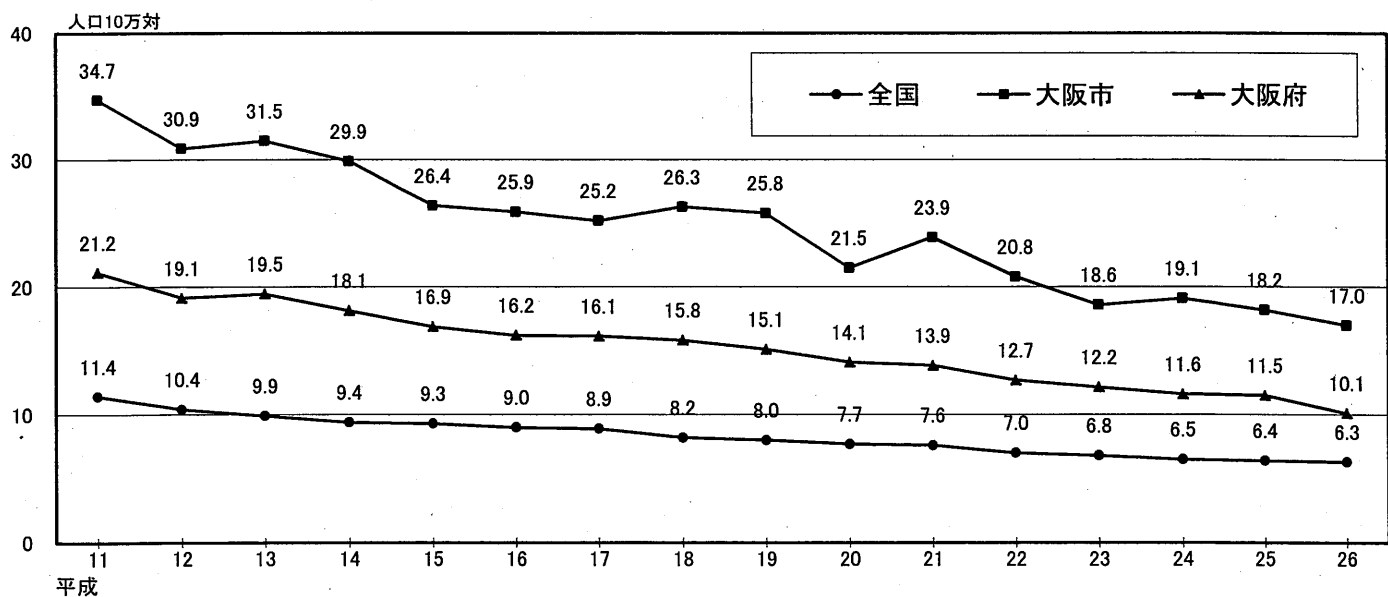
- 1 結核発生動向
- 2 患者発見
- 3 結核医療
- 4 コホート分析による治療評価
- 5 接触者健診
- 6 予防

1 結核罹患率の推移 平成11年～平成26年



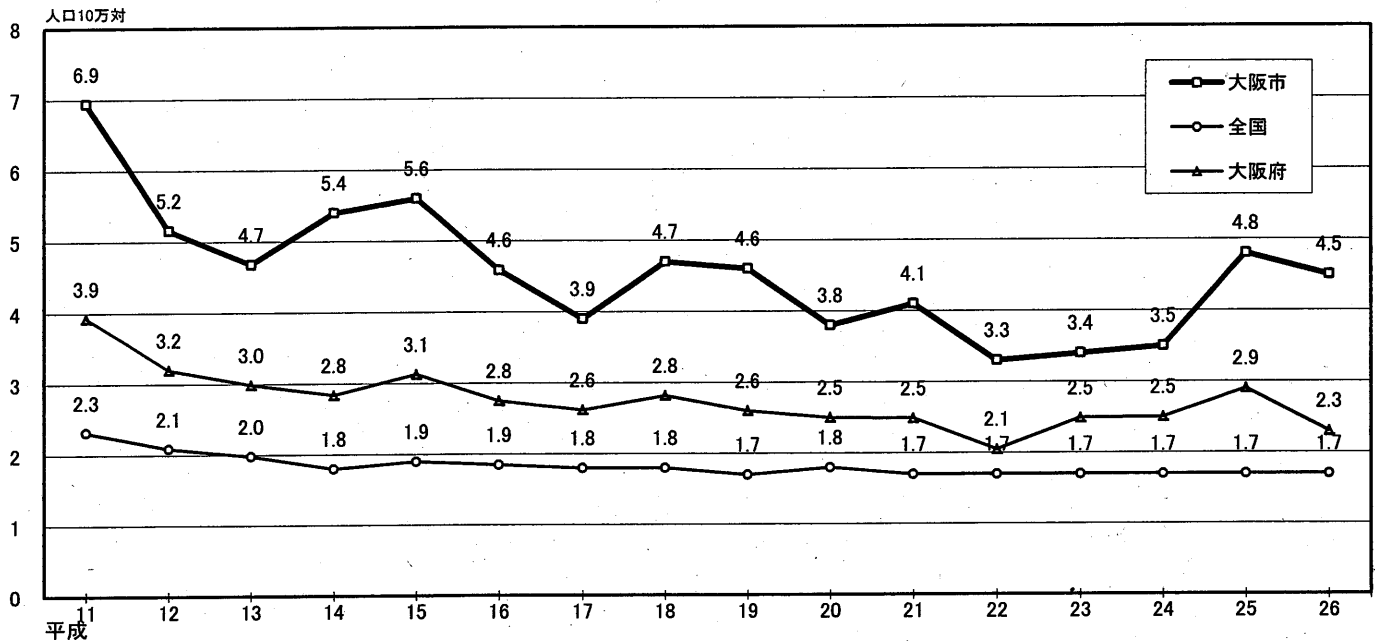
- 全国の結核罹患率は、平成11年の34.6から年々低下し、平成26年は15.4であり、減少率は55.5%であった。一方大阪市の罹患率は、平成11年107.7から平成26年36.8であり、減少率は65.8%であった。平成25～26年は、全国で4.3%、大阪市で6.6%の減少率であった。

2 喀痰塗抹陽性肺結核患者罹患率の推移 平成11年～平成26年



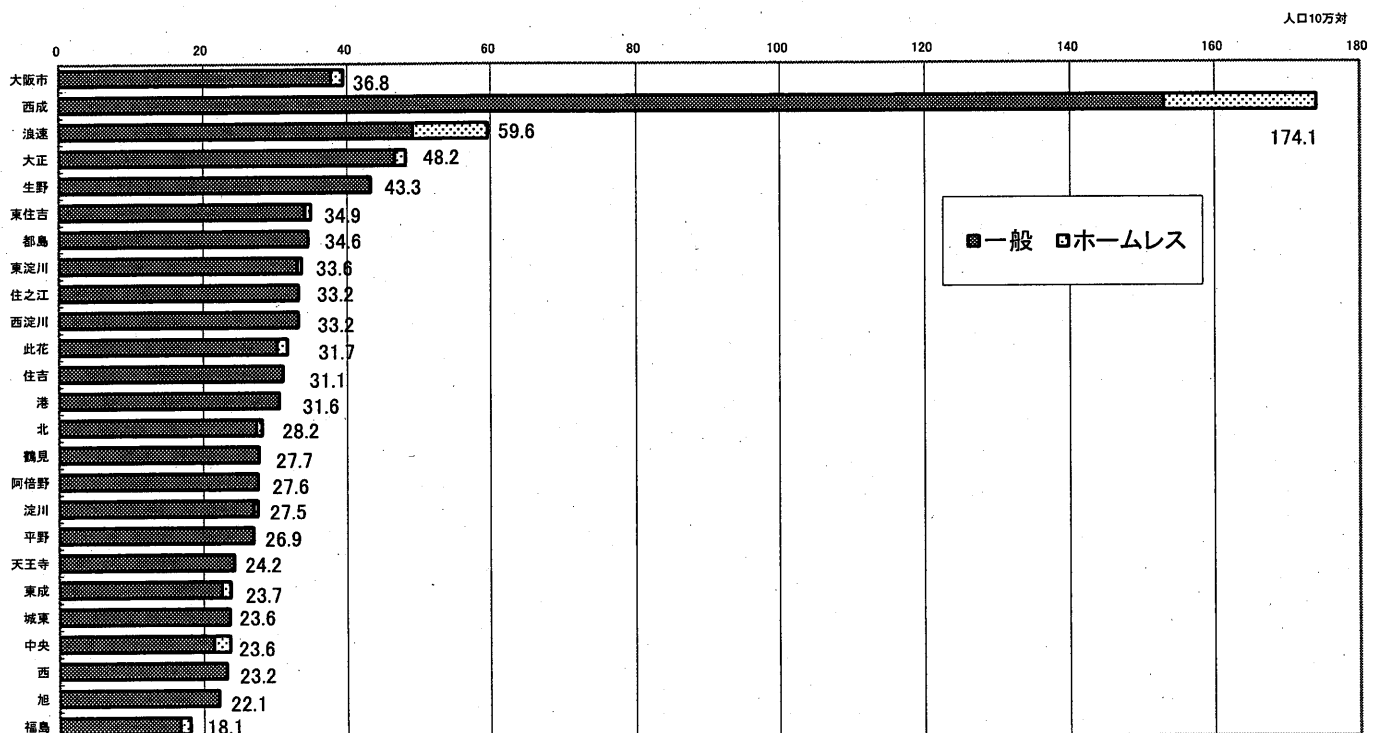
- 喀痰塗抹陽性肺結核患者の罹患率は、全国では平成11年11.4から平成26年6.3まで低下し、その間の減少率は44.7%であった。一方大阪市の罹患率は、平成11年34.7から平成26年17.0まで低下しており、減少率は51.0%であった。

3 結核死亡率の推移 平成11年～平成26年



- 死亡率は、全国は平成11年2.3から平成26年1.7に低下しており、ここ6年は横ばいであった。一方大阪市は平成11年6.9から平成26年4.5に低下していたが、全国の2.6倍であった。同年の大阪市の全結核罹患率は全国の2.4倍であったことより、大阪市は全国より死亡率が高い可能性が示唆された。

4 区別 結核罹患率（一般・ホームレス）（平成26年）



※ 年末時点での所在地等で集計している。他都市へ転出した患者については、転出直前の所在地等で集計している。

- 24区別の罹患率では、平成26年西成区174.1と最も高かったが、昨年より減少していた。次いで浪速区が59.6と高かった。ホームレス患者は、大阪市全体では平成26年42名（4.3％）で、平成25年52名（4.9％）から減少した。

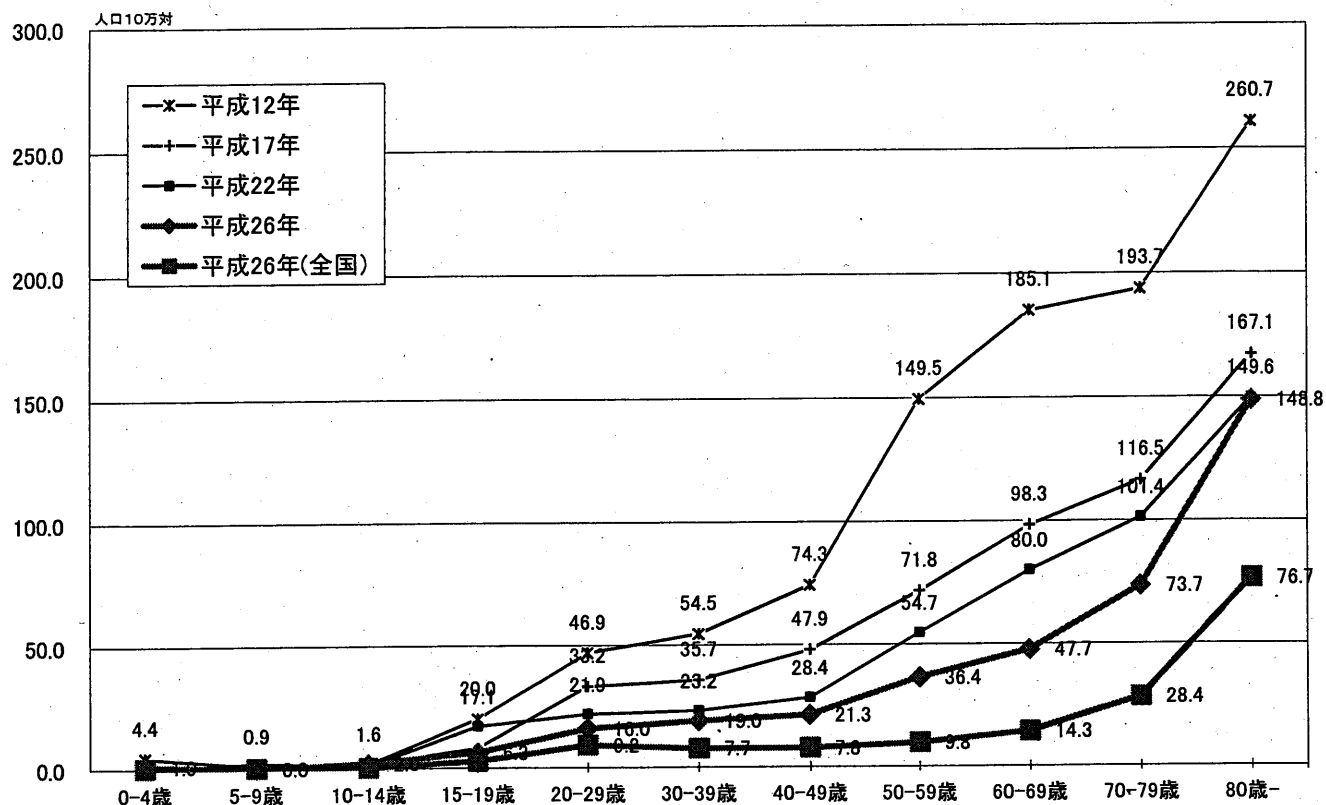
5 結核新登録患者数・罹患率（平成26年）

	H26.10.1現在 推計人口 (人)	新登録 患者数 (人)	結核罹患率 (人 口10万対)	喀痰塗抹陽性肺 結核患者数 (人)	喀痰塗抹陽性肺結核罹 患率 (人口10万対)
大 阪 市	2,686,246	988	36.8	456	17.0
北	120,727	34	28.2	16	13.3
都 島	104,147	36	34.6	18	17.3
福 島	71,909	13	18.1	5	7.0
此 花	66,198	21	31.7	8	12.1
中 央	88,819	21	23.6	4	4.5
西	90,623	21	23.2	11	12.1
港	81,810	25	30.6	14	17.1
大 正	66,421	32	48.2	9	13.5
天 王 寺	74,341	18	24.2	8	10.8
浪 速	67,134	40	59.6	14	20.9
西 淀 川	96,350	32	33.2	14	14.5
淀 川	174,512	48	27.5	23	13.2
東 淀 川	175,393	59	33.6	28	16.0
東 成	80,019	19	23.7	5	6.2
生 野	129,472	56	43.3	23	17.8
旭	90,526	20	22.1	11	12.2
城 東	165,190	39	23.6	18	10.9
鶴 見	111,988	31	27.7	15	13.4
阿 倍 野	108,861	30	27.6	14	12.9
住 之 江	123,411	41	33.2	20	16.2
住 吉	154,539	48	31.1	25	16.2
東 住 吉	128,816	45	34.9	27	21.0
平 野	196,702	53	26.9	31	15.8
西 成	118,338	206	174.1	95	80.3

6 一般・ホームレス別結核新登録患者数・罹患率（平成26年）

	新登録患者数 (人)			罹患率 (人口10万対)		ホームレス患 者の占める割 合 (%)
	一般	ホームレス	全体	一般のみ	計	
大 阪 市	946	42	988	35.2	36.8	4.3
北	33	1	34	27.3	28.2	2.9
都 島	36	0	36	34.6	34.6	0.0
福 島	12	1	13	16.7	18.1	7.7
此 花	20	1	21	30.2	31.7	4.8
中 央	19	2	21	21.4	23.6	9.5
西	21	0	21	23.2	23.2	0.0
港	25	0	25	30.6	30.6	0.0
大 正	31	1	32	46.7	48.2	3.1
天 王 寺	18	0	18	24.2	24.2	0.0
浪 速	33	7	40	49.2	59.6	17.5
西 淀 川	32	0	32	33.2	33.2	0.0
淀 川	47	1	48	26.9	27.5	2.1
東 淀 川	58	1	59	33.1	33.6	1.7
東 成	18	1	19	22.5	23.7	5.3
生 野	56	0	56	43.3	43.3	0.0
旭	20	0	20	22.1	22.1	0.0
城 東	39	0	39	23.6	23.6	0.0
鶴 見	31	0	31	27.7	27.7	0.0
阿 倍 野	30	0	30	27.6	27.6	0.0
住 之 江	41	0	41	33.2	33.2	0.0
住 吉	48	0	48	31.1	31.1	0.0
東 住 吉	44	1	45	34.2	34.9	2.2
平 野	53	0	53	26.9	26.9	0.0
西 成	181	25	206	153.0	174.1	12.1

7 年齢階級別全結核罹患率の推移



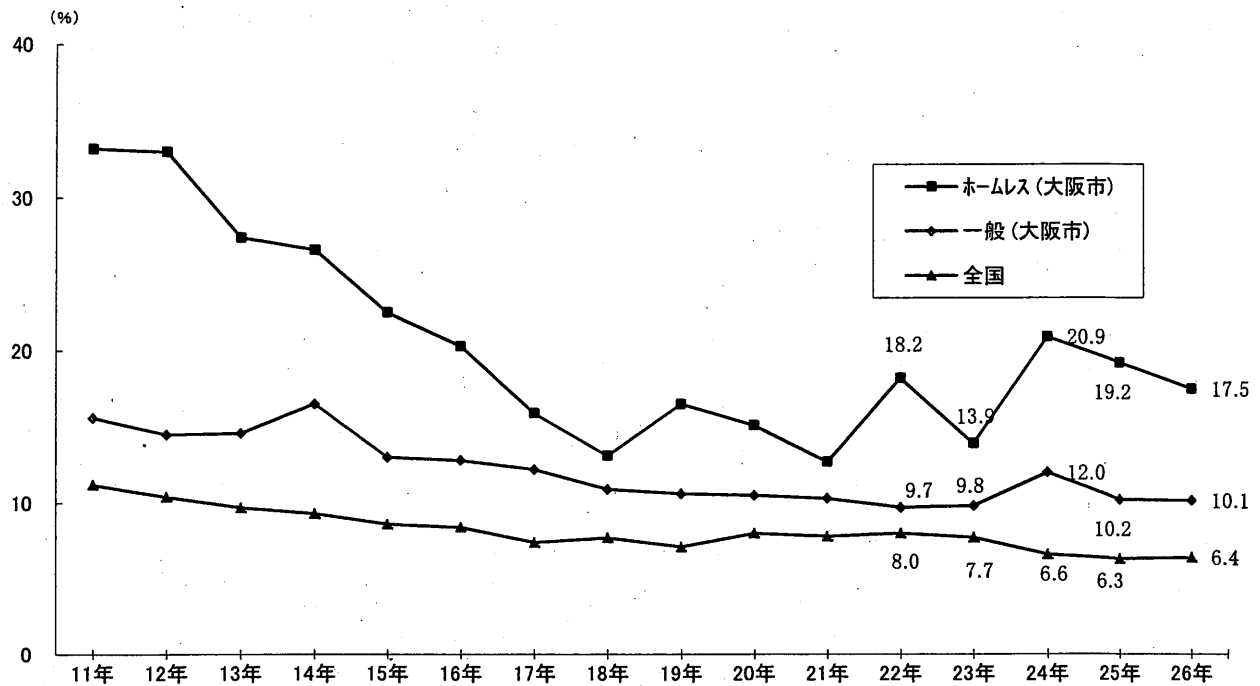
- 平成22年から26年にかけて、50代、60代、70代の低下が特に目立ったが、80歳以上の高齢者における罹患率の減少はみられなかった。全国と比較すると、特に50代、60代の罹患率が高く、それぞれ3.7倍と3.3倍であった。

8 小児結核患者数の推移

年齢	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
0～4歳	1	0	1	1	0	1
5～9歳	1	2	0	0	0	0
10～14歳	0	1	0	1	1	2
計	2	3	1	2	1	3

- 平成26年登録の小児結核患者は、1歳女児（rⅢ2・rpl・股関節結核、塗抹培養陰性、股関節穿刺液培養陽性）13歳男児（縦隔リンパ節結核、塗抹培養陰性）、13歳男児（lⅢ1、塗抹培養陰性）、計3名登録された。1歳女児は感染源不明、残り2名は家族に結核患者を認め、それぞれ同居の母（bⅢ3、塗抹陰性培養陽性）および別居の父（bⅡ2、塗抹2+）と濃厚接触していた。

9 一般・ホームレス別肺結核患者再治療割合の推移



○ 平成26年は、25年に比べ一般は10.2%から10.1%へ、ホームレスは19.2%から17.5%へといずれも減少した。

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
ホームレス(大阪市)	18/99	10/72	9/43	10/52	7/40
一般(大阪市)	96/990	89/910	110/918	89/874	82/808
全国	1,461/18,328	1,351/17,519	1,091/16,432	1,013/15,972	968/15,149